

地域政策課から、3月までの地域コミュニティ組織の活動状況を紹介します。

### 豊川地区

### 2月21日 健康麻雀教室

豊川地区まちづくり委員会の第1分科会（健康・福祉分科会）では、健康麻雀教室を開催しました。

地域住民と委員を含めて30名以上が参加し、習熟レベルに応じて6つのテーブルに分けて行いました。

経験の浅い人が集まったテーブルでは、麻雀牌をオープンにした上で、熟練者が丁寧にルールを説明しながら進めるなど、住民同士の交流を図りつつ、頭と指先を使って麻雀を楽しみました。



地域アクションいきいき  
補助金活用事業!

### 早川地区

### 2月21日 未来へつなぐ早川 みかん農園プロジェクト

地域政策課で令和7年度に創設した、地域活動のスタートアップを支援するための「地域アクションいきいき補助金」を活用し、早川地区において、みかんの苗木植樹体験や湘南ゴールドの収穫体験が行われました。本事業は、有志団体「おだわらノオト」とSNOAの共催で実施され、早川地区内外から30名以上の方が参加されました。

来年度以降は、早川地区まちづくり委員会とも連携しながら、事業展開を検討していきます。



地域政策課から、3月までの地域コミュニティ組織の活動状況を紹介します。

### 早川地区

#### 2月22日 早川クリーン大作戦

早川地区まちづくり委員会の地域振興分科会では、恒例の早川クリーン大作戦を実施し、早川小学校体育館周辺の草刈りや河川敷のごみ拾いを行いました。

当日は春の陽気に包まれ、子どもから大人まで総勢67名もの方にご参加いただき、賑やかに清掃活動が行われました。自分たちの手で地域を磨き上げることで、街への愛着と住民同士の絆がより一層深まる一日となりました。



### 富水地区

#### 2月28日 サイエンスショー

富水地区まちづくり委員会の子どもサポート分科会では富水小学校体育館でサイエンスショー「なんでも凍るチョコ冷たい世界の不思議に挑戦!!」を開催しました（富水小、報徳小の児童や保護者50名）。

講師に東海大学工学部の秋山教授と学生2名を招き、液体窒素を使った「チョコ冷たい世界」の実験を披露。凍ったバナナで釘が打てるか？ 膨らんだ風船を入れるとどうなるか？ 子どもたちは予想外の結果に驚きの声を上げていました。科学の面白さを肌で感じる貴重な一日となりました。



地域政策課から、3月までの地域コミュニティ組織の活動状況を紹介します。

### 富水地区

#### 3月6日 泉中交通安全教室

富水地区まちづくり委員会の交通安全分科会では、卒業を控えた泉中学校3年生179名を対象に交通安全教室を開催しました。

第一部では小田原警察署交通第一課より、令和8年4月の道路交通法改正に伴う「自転車への青切符制度（反則金制度）」の導入について説明を受けました。4月以降、16歳以上は「ながらスマホ」の違反に対して12,000円の反則金が課されるなど、生徒たちは自身の問題として真剣に聞き入っていました。

第二部では、県警察本部交通捜査課より暴走族加入防止について講話があり、一度加入すると離脱がいかに困難であるかを学び、その危険性を深く認識した様子でした。



### 上府中地区

#### 3月7日 クリーンもりと

上府中地区まちづくり委員会では、「クリーンもりと」と題し、森戸川の清掃を行いました。まちづくり委員会の委員のほか、千代中学校のバドミントン部員や千代小学校の児童など、合計75名が参加し、290kgのごみを搬出しました（可燃ごみ：280kg 不燃ごみ：10kg）。

地域の大人も子供も協力しながら地域活動に触れ、貴重な資源である河川の環境保全のみならず、世代を超えた交流が行われました。



地域政策課から、3月までの地域コミュニティ組織の活動状況を紹介します。

### 富水地区

#### 3月8日 まちづくり講演会

富水地区まちづくり委員会 地域振興・環境美化分科会主催による、まちづくり講演会「北条五代の100年を学ぶ」が城北タウンセンターいずみで開催されました（参加者38人）。

当日は西湘城郭研究会代表・湯山尊明氏を講師に迎え、北条五代の歴史的エピソードをご講話いただきました。伊勢宗瑞（北条早雲）から氏直に至るまで、約100年にわたり小田原城を拠点に関東を統治した北条氏。その一族の強い結束力と「民政を重んじる」政治姿勢を深く学ぶことができ、大変有意義な時間となりました。



### 十字地区

#### 3月14日 防災講習会

三の丸小学校ふれあいホールにて、十字地区まちづくり委員会防災分科会が主催する講習会が開催されました。前半は、元消防職員の講師から三角巾の基本の扱い方と、骨折や捻挫といった用途に合わせた使い方を学びました。

後半は消防団員が講師となり、傷病者の発見から胸骨圧迫、AEDの使用、救急隊への引き継ぎまでの流れを実習を通して学びました。参加者は、命を救う大切な講習に真剣な面持ちで取り組んでいました。





# コミュニナビ!!

Community Navigator!!

2026年（令和8年）

4月号

地域政策課から、3月までの地域コミュニティ組織の活動状況を紹介します。

## 前羽地区

### 3月 まえはコミュニティだよりの発行

前羽地区まちづくり委員会では、部会活動の紹介などを行うことで、地域内でのまちづくり委員会の知名度を向上させるため、「まえはコミュニティだより」と題した、広報紙の発行を行いました。まちづくり委員会の活動紹介のほか、災害時の備えや地域防犯に関する情報なども掲載し、地域力の向上に努めています。来年度からは定期的に発行し、活動の充実を図っていきます。



## 下府中地区

### 3月 コミュニティーズの発行

下府中まちづくり委員会の広報分科会では、年に1度「コミュニティーズ」を発行し、まちづくり委員会をはじめとする下府中地区における各種団体の活動を広く紹介しています。コミュニティーズの発行は、住民の皆さまに地域の魅力を再発見していただくための情報源として役立っています。最新号の第7号では、各自治会の日頃の取組やイベントをクローズアップして紹介しています。







## 実施方法や参加団体について

早川地区では、学校・自治会・PTAなど地域の各種団体が参加しているまちづくり委員会が中心となって事業を実施しています。

点検当日は、分科会メンバーに加え、交番勤務の警察官や行政の関係課職員も参加しています。参加者を2～4つの班に分け実施することで、通学路を漏れなくチェックしています。



令和7年度は、夜間に防犯パトロールを兼ねる形で、通学路点検を行いました。

あえて夜間に実施することで、「道路鍍金が光っていない」「防犯灯が伸びた木の枝に隠れてしまって足元が暗い」といった、昼間には見えてこなかった危険箇所にも気づくことができ、冬場の放課後や塾帰りなどの暗い時間帯におけるリスクを把握することができました。



## 分科会長のことば

交通安全・防犯分科会では、通学路点検、パトロールのほかにも子どもの自転車点検など様々な取組を企画・検討しています。

令和8年度は、道路交通法改正による「青切符制度」の施行に合わせて、自転車の乗り方に関する安全教室を企画するなどの広報活動を通じ、正しい利用ルールの周知徹底に注力していきます。

